

第3学年 単元の評価規準と「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標

米子市立後藤ヶ丘中学校

	単元の評価規準	「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標
話すこと	物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を簡単に述べるができる。	○興味のある話題について書かれた文章なら知らない単語がいくつかあってもだいたい内容理解ができる。
	過去や未来の日常生活の身近な話題について、What, Who, Where, When, How などではまる質問に簡単な文で答えたり、相手にも質問することができる。	
	簡単な相づちを打つことができる。(例: I see. / Really?)	
	予定を聞かれて簡単に答えることができる。	
	日常生活の行動について話すことができる。	
書くこと	簡単なカード、はがき、メールを書くことができる。	○自分のことや他人のこと、感想などを4～5文のわかりやすいまとまった文章を書くことができる。
	自分の趣味について、4～5文のわかりやすいまとまった文章を書くことができる。	
	物ごとの「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。(食べ物、スポーツ、音楽など)	
	短い日記を書くことができる。(3～5文程度)	
	10文程度で自己紹介の文章を書くことができる。	
聞くこと	ゆっくり話されれば、興味・関心のある話題に関する話を理解することができる。	○興味・関心のある話題に関する話を理解することができる。
	ゆっくり話されれば、日常生活の身近な話題に関する簡単な話を聞いて、その内容を理解することができる。	
	簡単なアナウンスを聞いて、重要な情報を理解することができる。	
	ゆっくり話されれば、簡単な道案内を聞いて、行き方理解することができる。	
	よく使われる表現であれば、単語がつながって発音されても、その意味を理解することができる。	
読むこと	日常生活の身近な話題についての文章を理解することができる。	○初めて見る文章でも意味を考えながらだいたい音読できる。 ○興味のある話題について書かれた文章なら知らない単語がいくつかあってもだいたい内容理解ができる。
	日本語の注や説明がついた簡単な読み物を理解することができる。	
	簡単に書かれた英語の道案内を見て、通りや店、病院などを探すことができる。	
	2年生後半～3年生前半の教科書をスラスラ音読できる。	